

『季節の宅配便』

まもなく夏ジャガの収穫



生石農場では、農場だより(4月号、vol. 13)で紹介した“ジャガイモ”が収穫の時期を迎えています。野生イノシシから守りながら苦勞して作っている夏ジャガの植えつけ後から収穫までをお伝えします。

★芽かき



4月にジャガイモの種芋を植えつけてから、約1カ月、芽が出て、茎や葉が高さ約30 cm位になりました(写真①)。大きな芋を収穫するために、種芋から出ている多くの葉を1ないし2本にします。これを芽かきといいます(写真②)。

★開花

6月に入り、2品種のジャガイモが花をつけました。
“キタアカリ”：“男爵芋”を母に、“ツニカ”を父として交配した品種(写真③)。
“インカのみぎめ”：バイオコークス研究所(北海道恵庭市)でも栽培されている品種(写真④)。



★収穫



6月中旬に“キタアカリ”の試し掘りを行いました。茎や葉を刈取り(写真⑤)、その後、芋を掘り上げると、写真⑥のように1株に8個前後の芋がついていました。